



発行所
社会医療法人 緑峰会
養南病院
〒503-0401
海津市南濃町津屋1508
☎(0584)57-2511
Fax(0584)57-2513
http://www.younan.or.jp
✉ younan@ogaki-tv.ne.jp

復職後のフォローも重要

戦友と会える場所

当院のリワーク(復職支援)プログラム(SMAP)も開始5年目を迎える。卒業生も109人を数える。こうした人々を対象に現在月一回の割合で「フォローアップセミナー」が開催されている。このセミナーは平成26年から本格実施されており、復職後の悩みや相談ができる貴重な場となっている。

ある利用者は「職場で凹んだ時はここにきて『戦友』と会うことで、また頑張れる」と話すなど、一緒に復職を目指して頑張った仲間に出会えることが、良い効果をもたらしているようだ。



働く中で生まれた悩みを相談する場にも

に一番のやり甲斐を感じます」と話す。

気軽に交流できる場も

さらに3カ月に1回「卒業生交流会」という場を設けており、ここではBQなどを楽しみながら、利用中のメンバーが卒業生に経験談を聞いたり、逆に卒業生が初心に戻るための切り替えの場とするなど、様々な効果があるようだ。

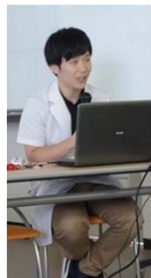
現在「フォローアップ」には平均10人、「卒業生交流会」には12人程度が参加している。うつ病につきものの「再発」を予防するためこうした取り組みは、今後ますます重要性を増しそうだ。



食が進めば話も弾む

◆勉強会 ①

8月21日(月)、相談課の菅沼裕貴PSWより老人ホームの種類や就労支援の施設などの紹介、解説がなされた。参加した看護師からは「こうした知識をもっと利用して、退院支援に生かしたい」との声が聞かれた。



福祉関係は任せてください

◆勉強会 ②

8月28日(月)、デイケア課の飯田高教心理士よりリワークと大人の発達障害についての報告がなされた。同じくリワーク担当の神崎順次係長は「こうした機会を通じて病院全体でリワークへの理解を深めていきたい」と展望を語った。



ちょこちょこ発信していきます

みか丸ん

病院ミシランガイド

「おいでんさい祭」

「おいでんさい祭」が来月開催される。実行委員長の黒田直美課長この枠を宣伝に使わせてあげるような。

「11月3日(金)文化の日、養南病院グラウンドにて開催されます」

「地域の方によるフリマや職員の露店販売、数々のステージイベント御用意しております。今年は、ワンちゃんも来場してくれそうですよ」

例年とあまり変わり映えていないような。メイイベントって、やっぱり

食へのこだわり

「ハロウィーン」

「ねえ彩音。今月ってハロウィーンじゃね?」

相方の高下智絵が切り出した。

「今年も仮装して、朝までパビリニしよ☆」

「テンアゲピーポーマックス」そう私たちは栄養課きつてのパビリニ。

「じゃあメニューもかばちやなんじゃね?」

「ウケルー」

「てか、かばちやの何?」

「パンプキンパイとか」「パンプキンスープとか」「インスタ映えしそ!」

◆今年も関谷...

「いいえ!今年のメインはマルチなバフォーマーKeyiです。数々のレギュラー出演を抱える有名どころを、一年も前からおさえておきましたよ」

あのKeyiが来るような?ナイフのジャグリングとか迫力満点だね。

「危険物の持込は困りますが。あとはあれよ、天気だわ。今年こそは晴天開催間違いなし!」

今からテルテル坊主をつくっておくような。今回の期待度星5つ★★★★



「11/3の開催日までぶらさがっているね」

◆勉強会 ③

9月4日(月)、グループホーム「オレンジハイツ」の渡辺剛施設長より、その概要と支援の現状などが解説された。参加者からは「親なきあとの自立にむけ、こうした生活訓練がいかに重要かがわかった」との声が聞かれた。



◆家族教室

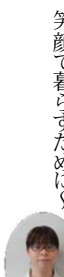
9月17日(日)、気分障害の家族教室が開催され、大人の発達障害について黒田直美臨床心理士より講演があった。グループワークを通じて、家族や患者からは様々な状況の方と話ができて気分が楽になった」との声も聞かれた。



家族同士での会話で得られることも多い

◆10月の家族教室

第一部「身近な社会資源を活用しよう」～みんなが笑顔で暮らすために～



講師 澤田真名美係長 (精神保健福祉士)

第二部懇談会 (精神保健福祉士)

日時:10月15日(日) 14時～16時

場所:デイケアセンター 対象:統合失調症 患者様とご家族

◆デイケア

卓球シリーズに新星

8月26日(土)、「全養オープン」が開催。相変わらず全力プレーの関谷院長が順当に決勝にこまを進めたが、その相手はスタッフの飯村聡PSW。メンバーの「これって私たちのための大会じゃないの?」との不満の声にも一切耳を貸さず、優勝は飯村さんに。敗退した院長は「スタッフが優勝するなんてけしからん」と肩で息をしながら憤っていた。



本気で悔しがっている関谷院長

◆デイケア

鍾乳洞に挑む

隊長の朝は早い。今回探検隊は関ヶ原鍾乳洞へ挑む。隊長の後藤明久作業療法士は準備を整えつつ語る。「生きてるんですよ。洞窟ってね。洞窟との対話なんです。我々の仕事は」と輝く瞳で語る。記者「ちよつと何言ってるか分からないですね」「探検隊は無事に鍾乳洞を攻略した。」



後藤「みんな気をつけて進むんだ!」メンバー「(大げさな...)」

◆デイケア

NGテイク

パラリンピックの正式種目となっているボッチャ。室内でも安全に取り組めるスポーツとしてデイケアでも実施。的となる球に向けて自チームの色の球を近付ける競技である。担当の門脇真司作業療法士は「簡単で楽しいですよ。試しにやってみましょ」と球を投げる。空高く上がった球は引っかけたて落ちて来なかった。



門脇「あっ!ちよつと今のなしで!」

◆羅笑門



今月は7月から西病棟で勤務している尾関康代さん(46)を紹介します。

A 趣味はありますか! 無趣味です。

Q ーこのままじゃ取材しても記事が書けないよー

Q 妖怪の仕業じゃないけど、「出て来い俺の友達ージバンヤン!」

召喚ー

Q この人が無趣味で、話が進まないんだけど助けてよ

Q えっ?猫の匂いがするって!?!それにこの毛は...よし!

北病棟の高木鈴代さんはキティちゃんが好き☆

コレクター歴15年以上、コレクション数は約1000点にも及ぶ。あらゆる雑貨グッズを見かけると、可愛いくてつい買ってしまうらしい。高木「こんな歳になっても恥ずかしいわ(笑)」と言いつつ胸元にはキティちゃんのペンが見えていた。

◆勉強会 ④

9月11日(月)、宮原診療部長による「触法行為と発達障害」と題した症例報告がなされた。診断、入院、今後の対応についての考察があり、関わりを持つスタッフ間で様々な意見交換の場となったようだ。

おいでんさい祭開催!!

11月3日(祝) 10時～15時

11月3日(祝) 10時～15時

おいでんさい祭開催!!

おいでんさい祭開催!!

おいでんさい祭開催!!

おいでんさい祭開催!!

おいでんさい祭開催!!

◆学生さんの声

看護実習中の大垣市医師会看護専門学校3年生の皆さんに病院の印象を伺いました。

「スタッフの皆さんが優しく実習しやすい環境で楽しく学ぶことができました。ご指導ありがとうございました。」

*学校からの反応を恐れてか、教科書通りの回答をしてくださいました。



川出さん(左上)、川野さん(右上) 青木さん(左下)、日榮喜さん(右下)

◆焼きそば作り

9月2日(土)、北病棟2階の活動で患者さんによる焼きそば作りが行われた。今回は材料など、個性的な焼きそばが出来上がった。協力して作った焼きそばは手間もかかった分、美味しさも格別だったよう。

「お腹が膨れてよかった」と感想がある中、匂いを嗅ぎ付けた水谷医師も試食にあずかり「量はもつと多いほうがいいですね」と感想を述べた。

おいでんさい祭開催!!

おいでんさい祭開催!!

おいでんさい祭開催!!

おいでんさい祭開催!!

おいでんさい祭開催!!

おいでんさい祭開催!!

おいでんさい祭開催!!



試食なのに量を欲しが的水谷先生